



## 防災市民協働プロジェクト 「どすこいMOB (モブ)」 ～笑顔でつなげる防災の輪～



三重県 伊勢市消防本部  
総務課主幹兼庶務係長 林 教介

「どすこいMOB」この言葉を聞いて防災活動をイメージできますか？「どすこいMOB」とは、従来の防災のイメージを一新する明るく・楽しい防災啓発活動です。

### 1 はじめに

三重県伊勢市は、伊勢志摩国立公園の玄関口に位置し、古くから「お伊勢さん」として広く親しまれてきました。伊勢市全域を管轄する伊勢市消防団は、1本部、7方面隊、22分団で組織され、平成31年2月1日現在、548名（うち、女性団本部員12名）が在籍しています。

### 2 女性消防団員の活躍

太平洋沿岸に位置する伊勢市は、近い将来、南海トラフ地震による被害の発生が危惧されており、市民の防災意識を向上させることが課題となっていました。

そのような中、東日本大震災の発生を受け、伊勢市女性消防団員は、防災啓発活動として何かできることはないかと考え、



保育所でダンス指導

平成24年に伊勢市消防団キャラクターの「いせりい」とともに、防災知識や避難行動がたくさん詰まった防災啓発ソング「どすこい・どすこい・だいじょうぶ!!」と防災啓発ダンス「どすこいダンス」を制作しました。作詞、作曲、歌、振り付け、キャラクター制作の全てを女性消防団員が手がけました。

当初は、学校や保育園、イベントなどでダンス指導やダンス披露をしていました。

### 3 「どすこいMOB」の誕生

平成27年度に完成した伊勢市防災センターに防災体験学習室が設けられることに伴い、市民に防災についてより関心を持っていただくために、「どすこいMOB」と称した市民参加型の防災啓発活動を企画しました。

「MOB」とは、群集が集まることを意味し、「どすこいMOB」は、防災知識や避難行動がたくさん詰まった「どすこいダンス」に市民に参加してもらう企画です。



伊勢市防災体験学習室で「どすこいMOB」を上映

伊勢市の一大イベントの伊勢まつり会場や、学校、保育園、老人会、防災関係施設などたくさんの場所で市民に参加していただき、女性消防団員主導のもとダンスを指導し、撮影を実施しました。

市民が参加し、踊っていただいたダンスは、映像として撮影・編集し、伊勢市防災体験学習室の映像コーナーで上映するなど、防災啓発につなげています。

#### 4 「どすこいMOB」の展開

人前で踊ることや撮影に対する恥ずかしさなどから、参加に消極的になりがちなか中、懸命な広報活動により、現在、伊勢市の人口の1%以上にあたる、約1,600名の市民に楽しく参加していただいております。

ダンス後の参加者の笑顔は、今でも印象



撮影の様子



伊勢まつりでの様子

に残っています。

また、伊勢市長をはじめ、市の関係職員も多数参加し、まさに行政と市民が一体となった防災啓発活動を展開しています。

子どもからお年寄りまで、楽しく参加できる防災啓発活動として、「どすこいMOB」は多くの市民に愛されており、防災体験学習室で映像を見た来場者からの参加希望もあります。

防災啓発活動を身近に感じ、参加することで、防災に関心を持っていただくきっかけづくりとして、大きな成果を上げています。

#### 5 おわりに

防災啓発活動は、地域住民一人ひとりが参加し、関心を持つことが何よりも大切です。これからも一人でも多くの方に「参加したい。」と思ってもらえるような、明るく・楽しい防災啓発活動を展開していきたいと思えます。

そして、もしいつか、大きな災害に見舞われることがあっても、地域が一丸となり、笑顔で乗り越えていけるような、そんな災害に負けないまちになることを願います。

「どすこいMOB」映像は、最初に次の言葉から始まります。

『この歌とダンスには防災知識や避難行動がたくさん詰まっています。もし、万が一災害が発生し、行動に迷ったときは、どうかこの歌を思い出してください。もしかしたら、役に立つことがあるかもしれません。』そして、映像の最後は次の言葉で終わります。

『尊い命を守れますように…』